

かわの通信

2020年5月10日

vol. 132

発行 北川かわの会

<http://kitagawakappanokai.la.cocan.jp/>

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

春の陽気も外に
出られない号

かわの楽校 生き物講座 第102回



「生きもの講座」は100回連載を記念し、表紙ページでお届けしています。

珍客来たる セイタカシギ

北山公園の水辺には、時折珍客がやって来ます。春秋の鳥の渡りの時期や冬鳥が渡来してくる時期に、そのような野鳥が見られます。たまたま上空を飛んでいた鳥が、居心地良さそうと思って、立ち寄っていくのでしょうか？

この春は、セイタカシギと言う珍客が北山公園にやって来ました。野鳥にはシギ・チドリ類と言ったグループがありますが、干潟や水田地帯などの広い水辺で見られることが多いので、近くで見ることが難しく、一般にはあまりなじみがありません。セイタカシギはこのシギ・チドリ類に属し、このグループの中では大きな鳥ですが、北山公園のようなさほど広くもなく、多くの人が利用している場所に降り立ったのにはビックリです。

セイタカシギの姿は大変優雅で、水辺の貴婦人とも言われています。極端に長い脚のせいで、背が高いのが名前の由来です。かつては、日本で繁殖するものも見られるようになりました。それでも環境省及び東京都のレッドリストで絶滅危惧種に指定されており、希少な鳥で

あることには変わりありません。もちろん、東村山では今回が初記録と思われ、数日滞在していたようです。

北山公園は人工的に作られた公園ですが、自然環境に配慮した整備が行われていることで、いろんな生き物たちが暮らすことが可能になっています。このことがセイタカシギのような珍客が、立ち寄ってくれることにつながっているのでしょうか。(ビー永島)



報告 2020年度の活動方針

北川かっぱの会では3月7日(土)、中央公民館で総会を開催する予定でしたが、コロナウイルスの感染を防止していくため公民館での総会の開催を断念しました。そしてネット上に議案書を掲載した上で会員からの意見や提案を募って意見交換を行い、2019年度の活動報告、2020年度の活動方針、2019年度決算、2020年度予算、2020年度執行体制が承認されました。承認された2019年度の活動総括と2020年度の活動方針については、当会のホームページで見ることができます(「北川かっぱの会」で検索)。

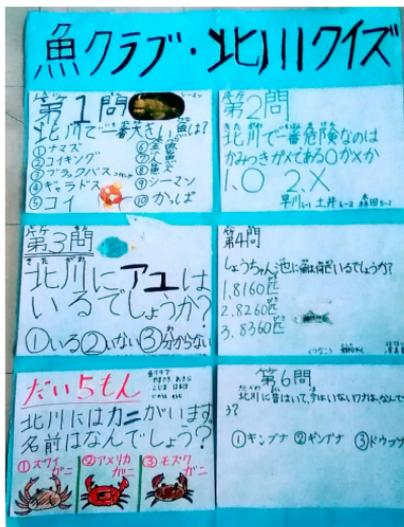
2020年度に特に力を入れて取り組んでいく事項としては、

- ①**組織の更新**→できるだけコア人材の交代を進める。若手の意見を取り入れ、若手が参加しやすいイベントの企画を追求する。併せて高校生や大学生の参加を推進していく。
- ②**提言活動や市民協働事業の推進**→生物多様性東村山戦略の制定を提言する、市民田んぼの立上げを支援していく(今年度より試行的にボランティアによる作業を開始予定)、みどりの楽校の再構築を提言していくなど
- ③**子ども向けイベントの集約化**→子どもに自然の中で楽しく遊んでもらうことを主眼に置きつつも、子ども向けのイベントの集約化を図っていく→北山いきものクラブと小学校土曜講座などを、できるだけ第2土曜に集約化するなど。

また、その他の意見交換も踏まえ、以下の事項も重点的に取り組みます。
・外来種防除についての市との協定を継続し(4/1付で更新済)、新たにアライグマの防除対策を検討し提言、八国山二つ池の環境改善プロジェクト(外来種の防除等)に協力・北山いきものクラブや小学校土曜講座で捕獲した生き物の種類等について記録

・様々な人が参加しやすいイベントづくりを目指す
2020年度も引き続き、北川かっぱの会へのご理解とご支援をお願いいたします。なお、会員の皆様方には「かっぱ通信132号(本号)」と一緒に、別刷で決算や予算、新役員についてお知らせしています。

報告 北山小・魚クラブのクイズに感動！



北川かっぱの会では、昨年10月に北山小の5, 6年生が対象の「魚クラブ」の授業を支援しましたが、このほどその学習の成果である「魚クラブ・北川クイズ」が届きました（全校向けに発表したもの）。クイズは、第1問「北川で一番大きい魚は？」、第2問「北川で一番危険なのはカミツキガメである○か×か」、第3問「北川にアユはいるでしょうか」、第4問「しょうちゃん池に魚は何匹いるでしょうか」、第5問「北川にはカニがいます。名前はなんのでしょうか」、第6問「北川に昔はいて今はいないフナはなんのでしょうか？」という内容でした。

10月の授業当日は、児童たちの疑問に答えるのを基本に、北川の魚類相の変遷や外来生物の問題点を中心に話をしましたが、話した内容がそのままクイズになって出題されていると感じました。多くの児童が北川や周辺の生き物に大きな関心を持っていることに改めて感動するとともに、豊かな自然環境を次世代に引き継いでいかなければならないと再認識しました。

報告 化成小・総合的学習の感想文に感動！

北川かっぱの会では昨年12月に、化成小3年生の北山公園と八国山の自然や歴史をテーマとした総合的学習の授業を支援しましたが、このほど各児童から授業についての感想文が届きました。感想文では、「意外にも多くの生き物があることがわかった」、「トウキョウダルマガエルや外来生物のことがわかった」、「自然を守ろうとして北山公園ができたことを知った」、「八国山の歴史と自然をもっと知りたいと思った」などの内容が書かれていて、感動しました。コロナウイルスの影響で学校での成果発表会が中止になってしまったのは残念でしたが、これからも多くの児童に地域の自然や歴史に興味を持ち続けてほしいと思いました。北川かっぱの会としても、今後もより多くの児童に地域の自然や歴史に興味を持ってもらえるよう努力していきたいと思いました。



北川かっぱの会の原点（第1回）八国山緑地と北山公園誕生の頃

私事で恐縮ですが、4年前から狭山丘陵の保全史の研究をはじめ、現在、市民と行政との相互作用等を切り口として研究、執筆中です。かっぱ通信では、この中から北山公園ができた頃から北川かっぱの会の創設期までにスポットを当て、数回に分けて当時の社会情勢をにらみながら歴史的な意義等について振り返ってみたいと思います。第1回は、八国山緑地と北山公園誕生の頃について振り返ります。



八国山やその前の水田（現北山公園）が公園になることが決まったのは1970年代の前半です。この

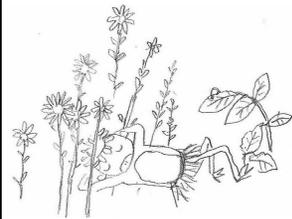
時代は、1960年代以降明らかとなった全国の公害の被害状況を受け、1970年に国会で公害問題に関する集中審議が行われ、1971年には環境庁（現環境省）が設置された頃です。都内では、1960年代後半以降の多摩川はじめとする河川（北川も）の水質汚濁が問題となり、また1973年の光化学スモッグによる被害等が明るみとなり、自分の生活する環境の質が問われだした時代でした。それまで何の疑いもなく地域の開発に邁進、是認してきた市民が、自然環境の保全や生活環境へ大きな関心を寄せるようになった時代でした。



東村山では急激に宅地化が進み、当時、まとまった自然が残っていたのは狭山丘陵の北山（別名八国山）とその周辺の一帯だけという状況でした。市民からは市に緑の保全

の要望が寄せられ、北山の北側である所沢市では大規模な宅地開発（現松ヶ丘団地）が計画され、開発の波が八国山にもせまっていた。そのような中、八国山では、1972年に東村山市が八国山の一画について地権者の協力を得て借地方式による自然公園的な「北山自然遊園」の指定を行い市民に開放しました（二つ池周辺）。しかし、1973年、不動産業者が北山自然遊園に隣接する北山前水田（現北山公園）の一部を買収していたことが判明しました。

東村山市にとって北山自然遊園を含む八国山は、市内に残された貴重な自然であり、そこに隣接する北山前水田の宅地開発は防がねばならない重要な問題でした。東村山市は東京都に対して八国山一帯の公有地化を強力に要請する一方、市は「東村山市緑の保護と育成に関する条例」を制定し、水田部分については市立の公園とすべく、市の事業として買収する方針を打ち出しました。1975年には不動産業者からの用地の買い戻しと地主との用地買収契約が終了となりました。買い戻した用地の面積は2.9haに及び、市の財政から捻出する費用は14億円にも達しましたが、何とか工面することができました。そして1976年には、市が水田部分を公園として都市計画決定し、1977年から市立北山公園の整備がはじまりました。



一方、お隣の東大和市では、1971年に狭山丘陵の一画に戸数1000戸の高層公団住宅の建設計画が明らかとなって市民による反対運動が起き、当時の尾崎市長の想いもあって、市と市民とが一体となって計画地（雑木林）

の公園化の働きかけを東京都に行いました。当時は革新系的美濃部知事だったことも幸いし、多摩地域等の丘陵地の緑を保全していく政策に乗った形で、1972年に建設計画は頓挫し、計画地を含む一帯は都立東大和公園として自然が守られることになりました。これらの動きが、東村山の北山公園の誕生や八国山緑地公有地化の動きに大きな影響を与えたと私は考えています。そして、丘陵地の緑を保全していく政策は八国山にも及んで、1977年には八国山も都立公園として都市計画決定されることとなりました。

当時の市民運動は、東大和で見られた程度の広がりでしたが、市民の想いを背景にがんばった市や市議会の関係者の熱い想いが、八国山や北山公園界隈の環境保全につながりました。（ベジタ清水）



報告北山小土曜講座 野鳥観察会

2月24日祝日、子ども5名大人4名、双眼鏡を手に北山公園や八国山に野鳥を探しに出掛けました。

しょっぱなにカワセミが飛んで来て（全員は見られなかったけど）、幸先良いな～と思いつつ北山公園に入ると、「あ、タヌキ！」と子どもの声。いました！竹林の中から1匹のタヌキがこちらをじっと見つめています。貴重な出会いに感激ながら、鳥探しを続けました。

シジュウカラ、ハクセキレイ、ツグミ、カルガモ、コガモ、カシラダカ、ヤマガラ…等。お馴染みの鳥から普段はちょっと気付きにくい鳥まで20種類以上に会えました。ゆったりとした心地良い時間でした。（もう少し後だったら、コロナの影響で出来なかったかも…）

それにしても、フィールドスコープで見る鳥のアップの顔は可愛かったり、個性的だったり。来年もまた会いたいなあ！（藤）



東村山の方言の中のいきものたち

第六回「かまくらちょうちょ」

今回とりあげるのは「かまくらちょうちょ」。これは「黒いアゲハチョウ」全般を指す方言です。

黒いアゲハチョウは色々な種類があるので、東村山で見かけるものを生き物講座担当のビー永島さんにかがってみました。もっとも多いのはズバリ「クロアゲハ」。次いで「ジャコウアゲハ」だそうで、「カラスアゲハ」は狭山公園で見ることができそうです。運がいいと見られるのは「ナガサキアゲハ」と「モンキアゲハ」で、市内のどこかで繁殖している可能性があるとのこと。「ミヤマカラスアゲハ」も記録はあるものの、これは奥多摩あたりから偶然やって来たもので、市内には生息していないだろうとのことでした。私は「クロアゲハ」「カラスアゲハ」くらいだと思っていたので、結構たくさん種類がいることに驚きました。

さてこの「かまくらちょうちょ」の由来はなんでしょか？まず思い

自然が大好き 第五回

高校生になった。高校は文武両道を掲げる長崎県央地区では有数の進学校で、私は理数科に入った。理由は自然、生物が好きだからということ、指定校であり研究の授業があったからだ。高校は、よく釣りに通った本明川の近くにあった。研究では

浮かんだのは鎌倉幕府を開いた源頼朝の肖像画（最近で

は別人説あり）でした。比較的大型である黒いアゲハチョウを、黒い装束をまとい威厳のある頼朝の姿にたとえたのかなと想像していました。調べてみるとほぼ正解で、さらにこの方言は鎌倉街道の上道や頼朝が演習をおこなった富士山周辺のみで使われているとのことでした。まさに東村山の中心には南北に鎌倉街道が通っており、八国山の麓には「いざ鎌倉」の激戦地、久米川古戦場もあります。昔から知る言葉でしたが、街道にも所縁があるとは思いませんでした。

勇壮でダイナミックですが、戦乱も多く、たくさんの悲劇を産んだ鎌倉武士の姿を、沿道の人々は黒い蝶に重ねたのかもしれない。

(じんだんば)

一田舎少年一

もちろん生物を選択し、プラナリア(右図)の研究を2年間行った。プラナリアの採取場所は、なんと本明川。この川は自分が小学生の頃は社会の教科書に載っていた気がしており、そんな川に比較的きれいな水質を好



むプラナリアが生息していたなんて驚きだった。プラナリアは体長1cmほどで、石を裏返してよく目を凝らしてみると、表面をすべるように移動している。色は薄い茶色で、形はマツタケを平べったくしたような姿である。体を切断しても再生することで有名な生物である。指でとると体を気付つけてしまうので、綿棒で優しく捕獲したことを覚えている。餌はレバーを食べるらしいが、生物室のシャーレの中という劣悪な環境で飼っていたため、餌を食べる前に透明になって死んでいた（消えてし

まっていたという表現が正しいかもしれない)。毎日シャーレの水替えに行っていたのに、なぜ、その当時、生物の先生に言ってもっと良い生育環境を提案しなかったのか、今思えば疑問だ。

ほとんど、プラナリアの話に

なり、とりとめのない

内容になってしまっ

たが、今回は、高

校時代の続きと

大学生になる

までについて

触れたいと思う。



2020年5月～8月 活動スケジュール

ホは**ホ**ランティア募集の略、**会**は会員のみの略
性別、年齢、経験不問。HP、ブログ(検索:北川かつばの会)
または直接会員にお知らせください

コロナウイルス感染防止の観点から5月はイベントを中止します。

6月以降の活動予定についても今後、中止となる可能性がありますので、「**かつばブログ**」等で**最新の情報の入手**をお願いいたします。

小学校土曜講座 5月～7月は中止。9月からの実施が計画されています。

北山公園の外来生物駆除

当分の間、休止。

定例川そうじ 毎月第2土曜 9-11時

6/13、7/11(土) **ホ**

集合:北山小正門前

全国の川・一斉調査 **ホ**

6/7(日) 9:00～12:00

廻田公民館集合 北川と前川の6

箇所について水質調査を実施; 雨

天決行

北川いきものクラブ**ホ**(魚とりなど)

7/11(土) 13:00～15:00頃

北山公園親水広場付近で北川で捕れた魚を展示するとともに、魚とりを楽しみます(雨天中止)。

夏まつり実行委員会 第2回

6/6(土) 14:30～15:30頃

サンパルネ3階 >>次ページ

多摩湖緑地・原風景を守る会活動日程

6/7(第1日曜) 9:00～

6/20(第3土曜) 13:30～

6/17(第3水曜) 13:30～

畑にて維持管理作業と収穫と落葉かき

夏まつりの内容の概要について決定します。多くの関係者の参加をお待ちしております。

北山わんぱく夏まつり

8月2日(土) 予定

実施の有無について遅くとも6月上旬までに決定し、「かっぱブログ」等に掲載します

北川かっぱの会 会議日程 定例会

6/6(土) 13:30~14:30頃

サンパルネ3階。9月頃までの活動について検討します。

北川かっぱの会刊行物

『未来の川へ・北川復元プラン』
北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円 送料82円。新一般会員には無料贈呈

『北川流域マップー未来の川へー』
北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価200円

『八国山・北山公園の 生き物観察ガイド』

A2両面版の生き物ミニ図鑑と解説。観察会などイベントで無償配布。

『北川・八国山・北山公園 いきものマップ』

かっぱの会20周年記念発刊。
北川・八国山・北山公園では、どこにどんな生き物が見られるか、環境ごとに誰もが普通に見られる種を主体に示したマップ。観察会などイベントで無償配布。A2両面版。

かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。

●**会費** 一般会員：年間3000円
支援会員：2年間で2000円
学生は2年間で1000円
「かっぱ通信」年5回をお送りします。

●**問い合わせ・申込み先**
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●**会費振込先**
〔郵便振替 00120-6-104476〕
〔りそな銀行東村山支店
(普)3605694〕

加入者名 北川かっぱの会

●**かっぱ通信**は市内の公民館と図書館に置いています。

●**編集後記**
2月の野鳥観察会のとき見つけたタヌキ、昼間に出てきたのには訳がありそうだ。疥癬(かいせん)症というダニによる皮膚病で毛が抜けてしまい、よほどかゆくてねぐらを飛び出したようだ。また、八国山の池では卵塊がたくさん見られヒキガエルが蛙合戦を繰り広げていました。春、生命を感じるいい季節、外に出歩けない不自由さ、毎年巡ってくるとはいえ寂しいね。

(遊星歯車)

●**発行：北川かっぱの会**
連絡アドレス
CZT12221@nifty.ne.jp

